

# JIS

ディーゼル機関－燃料噴射ポンプの  
取付け寸法－第 3 部：端面フランジ取付け式  
燃料噴射ポンプのフランジ

JIS D 3603-3 : 2009

(JSAE)

平成 21 年 12 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	二 瓶 好 正	東京理科大学
(委員)	飯 塚 悦 功	東京大学
	大 橋 守	社団法人日本鉄鋼連盟
	大 山 永 昭	東京工業大学
	小 野 晃	独立行政法人産業技術総合研究所
	菊 地 眞	防衛医科大学校
	窪 塚 孝 夫	社団法人自動車技術会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	菅 原 進 一	東京理科大学
	田 中 護 史	財団法人日本船舶技術研究協会
	田 中 信 義	キヤノン株式会社
	東 郷 洋 一	財団法人日本規格協会
	富 田 育 男	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	中 西 英 夫	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	長谷川 英 一	社団法人電子情報技術産業協会
	古 谷 毅	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	宮 入 裕 夫	東京医科歯科大学名誉教授
	若 井 博 雄	財団法人製品安全協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 11.5.20 改正：平成 21.12.21

官 報 公 示：平成 21.12.21

原 案 作 成 者：社団法人自動車技術会

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル TEL 03-3262-8211)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 要求事項	1
3.1 一般	1
3.2 寸法及び許容差	2
3.2.1 フランジ-1形	2
3.2.2 フランジ-2形	3
3.2.3 フランジ-3形	4
3.2.4 フランジ-4形	5
3.2.5 フランジ-5形	6
3.2.6 フランジ-6形	7
3.2.7 フランジ-7形	8
3.2.8 フランジ-8形	9
3.2.9 フランジ-9形	10
3.2.10 フランジ-201形	11
3.2.11 フランジ-202形	12
3.2.12 フランジ-203形	13
3.2.13 フランジ-204形	14
3.2.14 フランジ-205形	15
3.2.15 フランジ-206形	16
3.2.16 フランジ-207形	17
附属書 JA (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	18
解 説	20

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人自動車技術会(JSAE)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS D 3603-3:1999** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS D 3603** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS D 3603-1** 第 1 部：円筒面座取付け式列形ポンプ

**JIS D 3603-2** 第 2 部：平面座取付け式列形ポンプ及び高圧サプライポンプ

**JIS D 3603-3** 第 3 部：端面フランジ取付け式燃料噴射ポンプのフランジ

**JIS D 3603-4** 第 4 部：端面フランジ取付け式高圧サプライポンプのフランジ

ディーゼル機関—  
燃料噴射ポンプの取付け寸法—第3部：  
端面フランジ取付け式燃料噴射ポンプのフランジ

Diesel engines—Mounting dimensions of fuel injection pumps—  
Part 3: Flanges for end flange-mounting fuel injection pumps

## 序文

この規格は、2007年に第1版として発行されたISO 7299-1を基に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、我が国における実情を反映するため、対応国際規格には規定されていない燃料噴射ポンプを日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

## 1 適用範囲

この規格は、ディーゼル機関に用いる端面フランジ取付け式燃料噴射ポンプ（回転形、分配形式及び列形燃料噴射ポンプ。）（以下、ポンプという。）を機関に取り付けるために、取付け互換性上必要な、フランジの寸法に関する要求事項を規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 7299-1:2007, Diesel engines—End-mounting flanges for pumps—Part 1: Fuel injection pumps  
(MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS D 3608** ディーゼル機関—燃料噴射ポンプのカム軸端及びハブのテーパ部

**注記** 対応国際規格：ISO 6519, Diesel engines—Fuel injection pumps—Tapers for shaft ends and hubs  
(MOD)

## 3 要求事項

### 3.1 一般

機関製造業者は、ポンプへの取付けかん合部の機関側内径の公差域クラスについては、H8を用いること